

# 祇園祭

~in野沢~



## 目次

- 1p 祇園祭って何？
- 2p 祇園祭の特長
- 3p 祇園祭の情報

祇園祭を知りにレッツゴー！



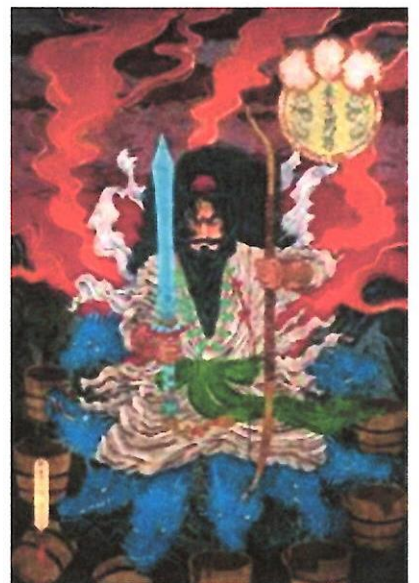
# 野沢祇園祭って何？

例年7月下旬の週末に行われる野沢地区「大伴神社」境内(けいだい)にある「素戔鳴神社(すさのをじんじゃ)の祭礼だ。祇園祭は主にお神輿(みこし)を8人でかつぐ。神輿の中には 農業の神様がいる。またその神様は病気、災難から守ってくれる。(野沢の祇園祭は)その神輿を担いで「農作物がよくできるように」という思いで毎年やっている。その他にお囃子屋台(おはやしやたい)というのがあり、笛や小太鼓、三味線の音色が街中に響き渡る屋台で楽しむのもいいと思うが、神輿を持ってみるのも一つの楽しみ方である。



# 祇園はどうやって始まった？

平安時代前期の869年に疫病が流行する。その際に、広大な庭園だった神泉苑(しんせんえんというお寺)に、**当時の国の数にちなんで66本の鉾(ほこ)を立て、祇園の神(スサノヲノミコ)らを迎えて災厄(さいやく)が取り除かれるように祈った事が始まりとされる。**





# 四神の神輿でご利益を

皆さんは四神を知っているだろうか？知っている人は相当物知りな人だ。四神は、中国古来の神様である。四神を祀っている。神輿について知ってみてはどうだろうか？

## 四神(しじん)って何？

四神とは、古代中国で信じられていた空想的動物である。東を青龍(せいりゅう)、南を朱雀(すざく)、西は白虎(びやっこ)、北を玄武(げんぶ)に当て、春夏秋冬に配し、また星宿(せいしゆく)に配当(はいとう)した。この四神を祀る(まつる)と次のような効果がある。青龍は金運、出世運が上がる。白虎は商売繁盛、子宝祈願、安産祈願の効果がある。朱雀は家庭円満、幸運になる言われており、玄武は健康運、長寿祈願、対人運がアップすると言われている。ここでは紹介しないがこの四神の他に中央を守る麒麟(きりん)がいる。



## 四神の神輿ってどんなもの？

野沢祇園祭のお神輿は大きく分けて二つある。大きな本神輿と四神の神輿だ。今回は、四神の神輿について紹介する。四神の神輿は、本神輿を先導し、威勢のいい掛け声と共に商店街を走り抜ける。本神輿のご利益に加えて、四神のご利益を得ることができる。四神の神輿と本神輿が登場すると観客からの拍手がほぼ毎回起こる。



二つの神輿は野沢祇園祭が始まった室町時代から約300年の歴史を持つ伝統的なお祭りの中の行事だ。各野沢地区から選ばれた合計8人が二人一組になって四神を運ぶ。2016年には、大人に混じって高校生5人が担ぎ手として参加。最初から最後まで責任持って四神を運んだ。これを読んでいるあなたも神輿を担いでみてはどうだろうか？





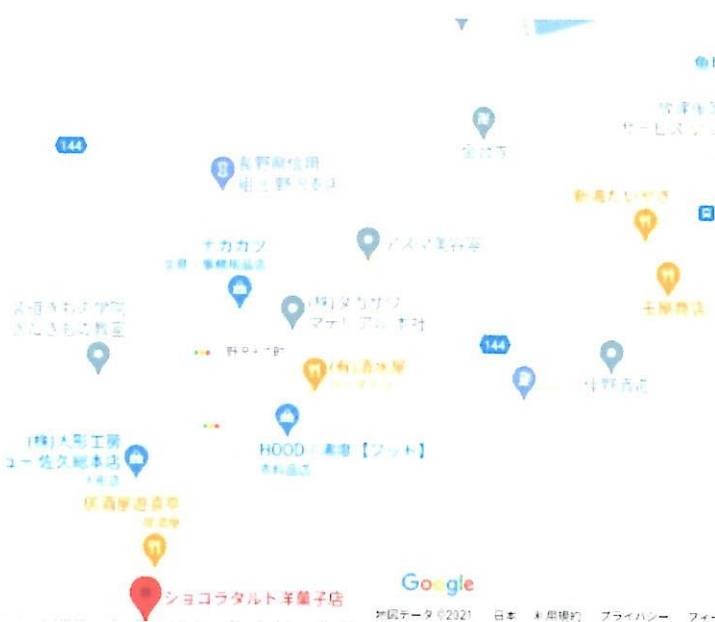
## 十二町のお囃子屋台を運ぶ様子

### 祇園祭情報

時期:7月下旬の週末

神輿をやっている地区:十二町(田町)

お囃子屋台をやっている地区:田町、原町、本町、十二町



制作:佐久市立野沢小学校  
祇園祭グループ